



岩見沢市立清園中学校 学校だより

令和8年 9月25日

清園の風

発行責任者 菊地 佳子 NO6



清園中学校区 3校接続スローガン

～利他共生～

自分で決めた！挑戦できた！

と力強く言える学校・子ども

AIの進化と、これからの時代を生きる「人間の選択」

先日、朝のニュースで「人間の能力をAIが超える可能性がある」「AIの急速な進化には注意が必要だ」といった内容が報じられていました。朝の身支度をしながらいつものようにニュースを聞き流していましたが、この時ばかりは手が止まり、言葉の意味を深く考えてしまいました。また、別の日には、身体の不調を感じた際にAIに相談し、受診の判断材料にしている人が増えているというニュースも見ました。大変便利な反面、人は自分にとって都合の良い情報を鵜呑みにしてしまい、誤った判断を下してしまうリスクがあることも指摘されていました。

かつて映画(『ターミネーター』『マトリックス』『アイ,ロボット』など)の中で描かれていた「AIと人類の共存や敵対」という未来像が、今や現実の課題として私たちの目の前に現れています。では、これからの時代を生きていく子どもたちや私たちは、AIやデジタル技術とどのように付き合っていけばよいのでしょうか。

7月に実施した「情報モラル教室」の振り返りでは、生徒たちから次のような感想が寄せられました。

「情報を鵜呑みにせず、本当に正しいか自分で判断することが大事だと思った。」

「AIは万能ではないので頼り切るのではなく、自分の頭で考えた上で『便利な助手』として活用していきたい。」

生徒たちが自らこの事実気づけたことは、非常に頼もしく、価値のあることです。AIが出す情報の真偽を見極めるには、人間自身の知識や経験、そして判断力が欠かせません。技術に使われるのではなく「賢く使いこなす主体性」を育むことの大切さを、改めて感じています。

【保護者の皆様へのお願い】こうしたデジタル技術やSNSは、子どもたちの生活を豊かにする一方で、使い方を一歩間違えるとトラブルに発展することもあります。学校でも日常的に情報モラルの指導を行っていますが、スマートフォンやSNSの利用はご家庭の契約・所有のもとで行われているため、トラブル発生時のご対応やルール作りについては、ご家庭が中心となって見守っていただく必要があります。

お子様が安全にネット社会と付き合いけるよう、使用時間や利用マナー、困ったときの相談先などについて、ぜひご家庭でも定期的に話し合う機会を設けていただくと幸いです。

学校として、今後も子どもたちが適切な判断力(情報モラル)を身につけられるよう、ご家庭と連携しながら指導を続けてまいります。

学校祭～自分たちで創り自分たちで楽しむ～

清園の学校祭は、生徒が主体となって自分たちで創り上げる学校祭です。特にステージで、多くの子どもたちが自分の得意なことを披露していました。それを応援する子どもたちも、昨年より自分たちで盛り上がるように工夫していました。みんなで温かく見守っていて、たくさんの拍手や賞賛の声会場に響いていたのが印象的でした。保護者の皆様も応援に駆けつけて頂き、学校全体がエネルギーに包まれた1日でした。



令和8年度 全国学力学習状況調査「生徒質問紙回の比較と分析」
目指す生徒の姿 自らの人生を舵取りできる生徒
育てたい資質能力 構造化された知識 批判的思考力・創造的思考力 多様な他者との協働・自己調整力
学校で定めた項目に関係するものを、全国と比較しました ※強肯定を比較(強肯定とは、4段階で1番肯定的な「そう思う」と回答したもの)

現3年生が1,2年の生活を振り返って回答したものです

	質問紙内容	強肯定意見 (%)	
		清園中	全国
学校基本項目	自分には、よいところがあると思いますか	35.7	41.0
	学校に行くのは楽しいと思いますか	35.7	45.2
	普通の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	50.0↑	46.1
	将来の夢や目標を持っていますか	31.0	37.4
構造化された知識	ICT 機器を使って情報を整理することができる	64.3↑	32.0
	国語の授業の内容はよく分かる	42.9↑	27.1
	数学の授業の内容はよく分かる	40.5↑	34.6
	国語で助言を踏まえ自分の文章の改善点を見出しましたか	26.2	30.0
	数学でどのように考えたか説明する活動をよく行いましたか	7.1	24.0
	英語で生徒同士で問答したり意見を述べ合いましたか	38.1	42.3
批判的思考力 創造的思考力	話合いを通じて自分の考えを深められている	52.4↑	39.6
	総合的な学習で課題を立て情報を集め発表している	47.6↑	32.4
	授業の学びを実生活等に結びつけて考えられる	31.0↑	28.3
	自分と違う意見について考えるのは楽しい	26.2	32.0
	話合いを通じて自分の考えを深められていますか	52.4↑	39.6
多様な他者との協働 自己調整力	友達と協力しながら課題解決に取り組んでいる	59.5↑	49.0
	学級活動で意見を生かし解決方法を決めている	42.9↑	34.2
	学級の話合いを生かし、努力すべきことを決めている	33.3↑	28.7
	自分で学び方を考え、工夫することはできている	28.6↑	27.4
	学習内容を見直し、次の学習につなげられている	38.1↑	29.3
	学級では人と違う意見を言っても否定されない	26.2	34.2
全国より20ポイント 以上高い項目	国語の先生はあなたの良いところを伝えてくれた	69.0↑	25.5
	1, 2 年時の授業で ICT 機器をほぼ毎日使用した	69.0↑	29.3
	国語の先生は改善の仕方を教えてくれた	57.1↑	26.5
	総合的な学習で ICT 機器を使って発表等ができる	64.3↑	37.3
課題と感じた項目	スマホ等での SNS・動画視聴が「1 日 4 時間以上」	50.0	28.8
	平日の学校外での勉強時間(3 時間以上)	0.0	8.9
	学校図書館へ本を読んだり借りに「ほぼ毎日」行く	0.0	1.8

どの項目も若干全国を下回りました。学校に行くのが楽しいと強く思える生徒がもう少し増やせるように、職員一同試行錯誤していく必要を感じました。生徒の声をしっかりと聞き、生徒が主語となる学校作りに励んでいきます。保護者の皆様のご意見も参考にさせていただきたいと思います。

身につけた知識と知識がつながり構造化されていくことで、生きて使える力となります。各教科をはじめ全ての教育活動の中にそのような機会を意図的に取り入れ、覚えて忘れてしまうだけの知識ではないものを生徒に獲得させていきます。

今年度より総合的な学習の時間で『探究』の取り組みをスタートさせます。当たり前を疑ってみることで新たな発見を生み出し、新たなアイデアを創出する経験を積んでいきます。生徒同士の対話が得意な生徒が多いので充実した活動が期待できます。

他者との協働の中でより深い学びを獲得できるよう授業改善を進めていきます。比較的全国よりも高い結果です。生徒は他者と協働することに慣れており、一人で学習するよりも効果を上げる場面が見受けられます。自己調整力を上げるには、大人が自己調整の機会を与えていかなければなりません。学校家庭それぞれで意識していきましょう。

ICTの活用状況はどの項目も全国を大きく上回っております。国語の授業についても肯定的な回答が多く、教職員でも国語の授業を参考にし、授業改善を進めていきます。

スマホにかける時間が1日4時間以上は全国と比べても突出して高いです。学習時間も短いことは例年繰り返している課題です。

10 月行事予定

日	曜	校 内 行 事	7	水	学力テスト(総合B) 諸活動停止日	13	火	後期始業式・認証式 学活(ピア・サポート)	19	月		26	月	教育相談①(全校)
1	木	学活(学級組織) 学校生活アンケート② 校内研修⑤ 諸活動停止日	8	木		14	水	委員会⑥(後期計画) 全校協議会	20	火	学活(生徒総会議案審議) 諸活動停止日 企画委員会	27	火	教育相談②(全校)
2	金	職員会議(前期反省) 諸活動停止日	9	金	前期終業式 学活(通知表配付) 諸活動停止日	15	木	分掌・学年部会 諸活動停止日	21	水	学活(1年・進路) 委員会※(回答・定例)	28	水	教育相談③(全校) 高校生インターンシップ
3	土		10	土		16	金	ふるさと学習発表会(1年)	22	木	職員会議(11月) 諸活動停止日	29	木	教育相談④(全校) 高校生インターンシップ
4	日		11	日		17	土		23	金	職場体験(2年)	30	金	校内研修⑥ 諸活動停止日
5	月	学活(学級組織)	12	月	スポーツの日	18	日		24	土		31	土	
6	火	通知表印刷完成							25	日				